

製品名: Cdk6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08569**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK6 CDKN6
別名	Cyclin-dependent kinase 6 (EC 2.7.11.22;Cell division protein kinase 6;Serine/threonine-protein kinase PLSTIRE)
遺伝子 ID	1021.0
SwissProt ID	Q00534
免疫原	アミノ酸配列範囲: 280~325 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

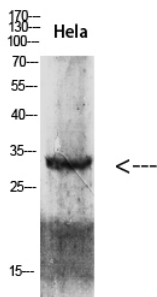
サイクリン依存性キナーゼ 6 (CDK6) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリン依存性タンパク質キ

ナーゼ (CDK) ファミリーのメンバーです。CDK ファミリーのメンバーは、*Saccharomyces cerevisiae cdc28* および *Schizosaccharomyces pombe cdc2* の遺伝子産物と非常に類似しており、細胞周期進行の重要な制御因子として知られています。このキナーゼは、細胞周期の G1 期の進行と G1/S 遷移に重要なタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットです。このキナーゼの活性は、D 型サイクリンや CDK 阻害剤の INK4 ファミリーのメンバーなどの制御サブユニットによって制御される中期 G1 で最初に現れます。このキナーゼは、CDK4 と同様に、腫瘍抑制タンパク質 Rb をリン酸化してその活性を制御することが示されています。この遺伝子の発現は、いくつかの種類のがんで上方制御されています。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されている。[RefS 提供] 触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: 細胞周期の制御に関与していると考えられる。D 型 G1 サイクリンと相互作用する。多型: CDK6 の遺伝的変異は、量的形質タイプ 11 (STQTL11) として身長に影響を与える[MIM:612223]。成人身長は、容易に観察でき、遺伝性の高い複合連続形質である。そのため、量的形質への遺伝的影響を研究するためのモデル形質である。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。CDC2/CDKX サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。

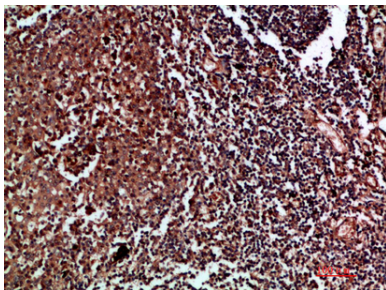
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;p53;がんの経路;膵臓がん;神経膠腫;黒色腫;慢性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

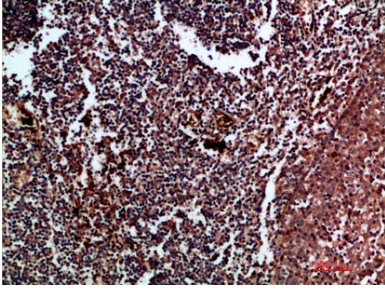
画像データ



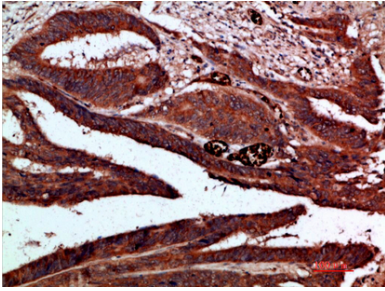
293T HeLa ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 2000 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。



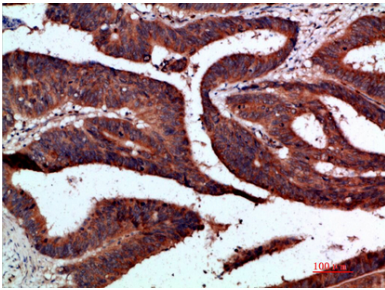
パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された